

## 行政報告、施政方針及び提案理由の説明

おはようございます。

三寒四温の言葉通り、春の訪れが間近に感じられる季節になりました。

現在、新型コロナウイルスの感染症の収束に向けて様々な取り組みが展開され、福岡県は先月末をもって緊急事態宣言が解除されましたが、はっきりした見通しは立っていない状況にあります。引き続き感染防止の取り組みが求められているところです。

また、今年は、東京オリンピック、パラリンピックの開催や10月に任期満了を迎える衆議院議員の選挙、さらに福岡県においては知事の辞職に伴う選挙が行われるなど、重要事案が山積し、予断を許さない状況にあります。

さて、本日は、令和3年第1回桂川町議会定例会を開催しましたところ、議員の皆様には、公私とも大変お忙しい中にも拘わりませず、ご出席をいただき心から感謝申し上げます。

それでは、これまでの主な行政報告、令和3年度施政方針及び本日ご提案します議案等の提案理由についてご説明いたします。

まず、はじめに、新型コロナウイルス感染症対策に関する状況等についてですが、本町における2月末日現在の感染者数は、9人です。ほかの市町村に比べますと少ない状況にあります。このことは、町民の皆さんの感染防止対策に対するご理解とご尽力の賜物であり、心から敬意を表したいと存じます。

また、国の地方創生臨時交付金等を活用し、町の独自事業として、学校給食費の免除や住宅改修特別促進事業、新生児に対する特別定額給付金の支給など、延べ49の事業に取り組むとともに、公共施設の利用制限をはじめ感染防止に向けた取り組みを実施しているところです。

新型コロナウイルス感染症対策の切り札として期待されていますワクチンの接種については、現在、国の方針により、医療従事者に対して先行接種が行われていると聞いていますが、高齢者や一般住民の皆様の接種については具体的な情報がなく、国策も流動的なところがあります。

本町では、国や県と連携を図るとともに、飯塚市、嘉麻市並びに飯塚医

師会等と協議し、住民の皆様の速やかな接種を最優先課題として取り組んでまいります。当面は、4月から始まる予定の高齢者の方への接種券の準備、接種時期や具体的な方法等について協議・調整を行っているところです。今後、ワクチン接種に関する内容等が決まりましたら、早急にお知らせしますので、よろしくお願いいたします。

コロナウイルス対策事業のそれぞれの事業内容については、町のホームページや町報けいせん、臨時発行のチラシ等でお知らせしています。また、関連する予算を本定例会に計上していますので、改めてお知らせしたいと考えています。

次に、本年3月31日をもって退職します職員は、4名です。このうち定年による退職者が2名、他の2名は勸奨退職によるもの1名、自己都合によるもの1名となっています。

なお、4月1日採用予定者は、一般職4名、保育士2名、保健師2名を内定しているところです。

次に、第6次総合計画については、先日、総合計画審議会会長から答申をいただきましたので、本定例会の会期中に追加提案したいと考えています。

今回の計画は、「自然と文化が息づく笑顔あふれるまち『けいせん』」を町の将来像とし、各分野における目標達成に対する進捗度をわかりやすくするための成果指標の設定や平成27年9月の国連サミットにおいて採択された「持続可能な開発目標」SDGsを表記し、総合計画の施策との関係性を示しています。

審議会委員の皆様には、長期間にわたり、住民アンケート調査や各課のヒアリングシート、中学生のワークショップなどを基にご審議をいただき、総合計画の答申を賜りました。心から感謝申し上げます。

次に、今年度策定を進めています第2期桂川町まち・ひと・しごと創生総合戦略については、第1期に引き続き、定住・教育・産業・王塚古墳の4本の柱を施策に掲げ、評価指標を設定し、目標達成を目指してまいります。また、桂川町の特色ある教育に関する情報発信や大学・高校と連携したまちづくりに関する取り組み、あるいはSociety5.0、SDGsなど、新たな施策を導入しているところです。

次に、ふるさと応援寄付金については、本年度1億円を超える寄付をいただいています。本年1月末時点の実績は、件数では1万52件、金額では1億681万円となっています。今後は、寄せていただいた寄付金を有

効活用し、町の情報発信につなげていきたいと考えています。なお、当事業は、自主財源の確保につながると同時に地域産業の育成・振興に資する施策でありますので、今後ともPRの強化や返礼品の充実など、積極的な取り組みを進めてまいります。

次に、桂川駅自由通路等の整備につきましても、現在、自由通路および新しい駅舎の内装工事がほぼ終了し、施設内のサイン等を取り付ける作業を行っています。1月末時点の進捗率は96.0%であります。また、南側交通広場は、駅前道路の舗装が完了し、歩道のインターロッキングや駐車場付近の舗装工事を進めているところです。

工事の進捗に伴い、九州旅客鉄道株式会社と締結している桂川駅自由通路等整備工事の基本協定において、工事費の減額と期間の延長について変更する必要が生じたので、協定の変更に関する議案を本議会に提案しています。なお、工事期間中に使用した仮駅舎や既存の跨線橋等の撤去については、新駅舎開業後の令和3年度に行う予定です。

なお、自由通路の開通式については、町制施行80周年のお祝いと合わせて3月21日に行う計画です。コロナウイルスの感染予防のため、ささやかな催しになりますが、桂川町の将来の発展を期して、これからのまちづくりの重要な生活基盤として利活用を図るとともに、周辺地域の活性化に努めてまいりたいと考えています。

近隣住民の皆様、駅利用の皆様には、長期間にわたり多大なるご迷惑をおかけしました。皆様のご協力により順調に工事を進めることができましたことを、この場をお借りしまして心よりお礼申し上げます。

また、桂川駅南側駐車場の新設等に伴い、桂川町駐車場条例の一部を改正する条例を上程していますので、よろしくお願ひします。

次に、町営住宅二反田団地B棟の建設については、造成工事及び敷地内道路の整備が完了しています。B棟は、6階建ての鉄筋コンクリート造で、計画戸数は47戸です。来年度には建設工事に着手することになります。

次に、公共施設の個別計画については、日常的に不特定多数の人が利用する施設や災害時等の避難所に指定されている施設など、計15施設を対象に老朽化対策等に関する方針を定めることとしています。計画を基に施設の適切な運用と維持管理を図ってまいります。

次に、県道豆田稲築線（九郎丸工区）、つまり、桂川町役場横から国道200号までの道路改良工事については、測量業務が完了し、道路詳細設計が行われていると報告を受けています。今後、用地の確保や学校施設と

のアクセス道路の整備などいろいろな課題がありますので、県と連携を図りながら早期実現にむけて積極的に取り組んでまいります。

次に、公有地の中で利活用が可能な遊休地については、積極的に利活用できるようにその対応策の検討が必要であり、今後の町づくりの課題解決や移住・定住者向けの住宅や宅地の提供のためにも、早急に取り組まなければならないと考えています。

次に、ふくおか県央環境広域施設組合のごみ処理施設再編計画については、昨年12月議会で再編計画に係る3つの方針についてご報告した後、桂苑がある九郎丸区の役員の皆さんにご説明をいたしました。町民の皆さんには広報けいせん3月号でお知らせすることにしてあります。

次に、本町が加入している福岡県介護保険広域連合は、高齢者一人当たりの介護給付費の実績に応じて、構成市町村をAからCまでの3つのグループに分け、グループ別に保険料を設定し、3年ごとに見直しを行っています。

平成30年度から令和2年度までの3年間は第7期に当たり、来年度からの3年間は第8期になります。本町は過去において保険料が最も高いAグループの時もありましたが、近年では皆さんの介護予防や健康増進の取り組みにより、Bグループとなっています。今後とも、介護予防事業や健康診査等の取り組みを強化する必要があると考えています。

次に、福岡県は国民健康保険運営方針として、県内市町村の保険料水準の均一化を目指すため、令和5年度までを制度定着期間、令和6年度以降は均一化移行期間として取り組みを進める方針を策定しました。

本町もこの運営方針に沿って、現在、国保税算定方式としている4方式を、県が標準方式として示す3方式に見直す必要があります。今後、課題等の整理に努め、準備を進めてまいります。

次に、現在、策定作業を進めております、「第2期地域福祉計画」、「第6期障がい福祉・第2期障がい児福祉計画」、「第8期高齢者福祉計画」「第2期男女共同参画基本計画」につきましても、それぞれの施策推進協議会委員の皆様にご協議いただき、現在、最終的な取りまとめ作業を行っているところです。

次に、農業振興については、農地や農道、水路等の農業環境保全のため、多面的機能支払交付金や中山間地域等直接支払交付金を活用した支援を継続してまいります。

また、福岡県やJAと連携して、農業次世代人材投資事業を活用し、新

規に就農する青年農業者の支援に努め、地域農業の活性化に繋がりたいと考えています。

次に、桂川中学校のすぐ横にあります「七浦ため池」は、老朽化のため斜樋管が閉塞した状況になり、ため池機能の回復と防災上の改修工事が必要になっています。このため、県農林事務所と協議を行い、県営事業としてため池改修工事に取り組んでいただくことになりました。

令和3年度は調査・測量を実施し、その結果を見て事業の計画を立て、取り組みを進めることとなります。なお、工事の実施にあたっては一定の町の負担金が必要となります。

次に、プレミアム付き商品券の発行事業については、県から地域経済の活性化に積極的に取り組んでいくため、10パーセントの補助を予算化している旨の通知がありました。これを受けまして、本町は、実施主体であります商工会と協議を行い、昨年の状況を参考にしながら事業支援に取り組んでいきたいと考えています。

次に、保育所民営化に向けた取り組みとして、桂川町保育事業の在り方について見直しを行うため、昨年4月より庁舎内検討委員会、県子育て支援課との協議等を踏まえ、本年2月19日に開催しました「桂川町子ども・子育て会議」において、保育事業整備計画案の趣旨説明をさせていただきました。会議の次回開催時に委員のご意見を取りまとめ、町民の皆様へパブリックコメントを実施したいと考えています。

本町においては、多様化する子育てニーズへの対応、保育施設環境の改善、保育士確保、待機児童の解消等を進めることは喫緊の課題であります。このための方策として、国の交付金の対象となる保育所の民営化計画を進めてまいります。

なお、児童福祉法において監護を必要とする児童等の保育実施については、市町村の責務とされていますので、1施設は町立保育所として継続し、責務を果たしていきたいと考えています。

次に、教育環境の整備の中で早急な対応が必要とされる学校施設は、桂川小学校の屋上の雨漏り防止工事と外壁の塗装工事であると認識しています。このため、国の令和2年度・第3次補正予算で示された文部科学省の長寿命化改良事業を活用して実施したいと考えています。なお、この予算は補正予算であるため、令和2年度の一般会計補正予算書第4号に計上していますので、よろしくお願いいたします。

また、学校給食共同調理場の調理室等の温度管理を行うスポットクー

ラーが経年劣化しているため、国の第3次補正予算に伴う補助事業を活用し、新たなエアコン方式に変更したいと考えています。

次に、住民センター大ホールの空調・換気設備改修工事については、現在、順調に工事が進捗しています。本年1月末に既設機器の撤去が終わり、今月中旬には完成する予定です。

次に、地域コミュニティの活性化を目的に創設した「地域はつらつ応援助成金事業」は、本年度で3年目となりますが、コロナ禍により地域分館の事業は減少しています。令和3年度は、事業の情報共有やコロナ禍でも行える事業の情報を提供するなどの取り組みに努め、地域活動の推進を図りたいと考えています。

次に、図書館の利用に関する取り組みですが、図書館機器をリフレッシュしましたので、4月から貸し出し中の本の借り入れ予約をパソコンやスマートフォンのインターネットでWEB予約ができるようになります。今後も、読書の推進と住民の方々の交流の場として利用しやすい環境づくりを進めていきたいと考えています。

次に、令和2年度中に策定します「特別史跡王塚古墳保存活用計画」に基づき、町のシンボルにふさわしい王塚古墳のより効果的な公開、活用及び観光に取り組んでいきたいと考えています。そして、王塚古墳の文化遺産としての素晴らしさを全国に発信できるよう、専門家の指導を受けながら、国・県との連携を強化してまいります。

次に、令和2年度の一般会計予算について、概略のご説明を致します。

まず、承認第1号・令和2年度桂川町一般会計補正予算の専決第6号については、ふるさと応援寄付金の金額が予算を上回りましたので、その事業に係わる経費と、新型コロナウイルス感染症対策に係るワクチンの接種体制確保事業費を追加し、予算の総額を80億4,439万8千円に定めたものでございます。

次に、承認第2号・令和2年度桂川町一般会計補正予算の専決第7号は、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の第3次交付内示額1億277万6千円のうち、5,552万9千円を財源に実施する事業として、生活困窮者支援給付金給付事業や感染症拡大防止協力事業者応援事業など、本町独自の新型コロナウイルス感染症緊急支援対策事業費と、国の補助事業を活用して実施する高齢者等のPCR検査事業費を追加し、予算の総額を81億101万2千円に定めたものでございます。

なお、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の第3

次交付内示額の残額4,724万7千円については、令和3年度の補正予算として追加計上し、4月以降、つまり新年度も引き続き実施する緊急支援対策事業の財源として活用してまいります。本定例会の中日に、令和3年度一般会計補正予算第1号として追加提案したいと考えていますので、よろしく申し上げます。

次に、議案第10号・令和2年度桂川町一般会計補正予算第4号は、補正額1億9,238万7千円を追加し、予算の総額を82億9,339万9千円に定めようとするものでございます。

今回の補正の主なものは、先ほど述べました桂川小学校の屋上の防水工事及び外壁の塗装工事と、学校給食共同調理場の空調工事です。なお、工事等のスケジュールの関係上、両事業とも当該予算を令和3年度に明許繰越いたします。

また、桂川駅自由通路等整備事業に係る継続費については、九州旅客鉄道株式会社との基本協定の変更に伴い、事業費の減額と期間延長をおこなうものです。

この他、決算を考慮した精算見込等による補正額を計上しています。

以上が令和2年度一般会計補正予算第4号の主な内容でございます。

次に、令和3年度一般会計予算についてご説明します。

総務省が示した令和3年度の地方財政対策の概要は、「極めて厳しい地方財政の現状及び現下の経済情勢等を踏まえ、歳出面においては、地方団体が行政サービスを安定的に提供しつつ、地域社会のデジタル化や防災・減災、国土強靱化、地方創生の推進、地域社会の維持・再生等に対応するために必要な経費を計上するとともに、社会保障関係費の増加を適切に反映した計上を行う一方、国の取組と基調を合わせた歳出改革を行うこととする。また、歳入面においては、新型コロナウイルス感染症の影響により地方税等が大幅な減収となる中、『経済財政運営と改革の基本方針2018』で示された『新経済・財政再生計画』を踏まえ、交付団体をはじめ地方の安定的な財政運営に必要な地方の一般財源総額について、令和2年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保することを基本として、引き続き生ずることとなった大幅な財源不足について、地方財政の運営上支障が生じないよう適切な補填措置を講じることとする。」とされたところです。

このような状況の下、本町の令和3年度予算は、対前年度比2.8%減の57億6,957万7千円と定めています。

それでは、予算の主な内容についてご説明します。

まず、歳入予算の1款・町税ですが、固定資産税、軽自動車税及び町たばこ税は、実績を勘案して前年度とほぼ横ばい状態になるものの、町民税においては、新型コロナウイルス感染症の影響等により個人分、法人分ともに減収の見込みで、町税全体では、前年度より6.1%、金額にして7,133万4千円減の10億9,804万円を計上しています。

次に、11款・地方交付税ですが、地方公共団体に交付される地方交付税の国全体の総額は1兆4,385億円であり、前年度と比べプラス5.1%、8,503億円の増となっています。

本町の場合、普通交付税においては、前年度決定額からプラス2.6%の17億5,766万7千円を見込んでおり、当初予算の計上額を16億4,979万2千円としています。また、特別交付税は、直近の実績値であります令和元年度決定額から、マイナス20%程度を見込み、2億円を計上しています。

次に、18款・寄附金は、前年度より6倍強に当たる1億円を計上しています。これは令和2年度のふるさと応援寄附金の受け入れ実績に基づいて計上したものです。

次に、19款・繰入金では、財政調整基金ほか3基金について、それぞれの基金条例の設置目的に沿った繰り入れを行っています。財政調整基金につきましては、前年度より2,000万円減の2億円、また、公共事業整備基金につきましては、前年度より1億円減の4,000万円を計上しています。

続きまして、歳出予算についてですが、2款・総務費において、ふるさと応援寄附金事業費や地方創生結婚新生活応援事業補助金などの取り組みのほか、新規事業として、第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく移住・定住奨励事業や、空き家・空き地のデータベース化などを進めていきたいと考えています。

次に、3款・民生費では、児童福祉や障がい者・高齢者福祉など、町民の皆様の社会生活に必要な経費を計上しています。新規事業では、飯塚市・嘉麻市と連携して実施する定住自立圏病児保育事業負担金や、土師保育所・吉隈保育所での英語指導業務委託料、災害時に避難所となる総合福祉センターでの安全確保のためのガラス飛散防止フィルム貼委託料などを計上しています。また、子ども医療制度の拡充に係る経費については、増額の措置をしているところです。



次に、4款・衛生費では、各種予防接種や健康増進、食育、ごみ処理などの関係経費を計上しています。新規事業としては、小児がん等の治療のため造血細胞移植を行った方に対する任意予防接種ワクチン再接種費用補助金を計上しています。

また、第2期の健康増進計画・食育推進計画策定に取り組んで参ります。

次に、5款・労働費では、嘉麻・桂川広域シルバー人材センター委託料や若年者専修学校等技能習得資金貸与金などを計上し、6款・農林水産業費では、農地・農業用施設の保安全管理活動のための多面的機能支払交付金や中山間地域等直接支払交付金、荒廃森林整備事業費などのほか、水利施設の改修事業費を計上しています。

次に、7款・商工費では、商工業の振興や消費者行政、観光に関する経費を計上し、8款・土木費では、道路橋梁の維持・改良費や町営住宅二反田団地B棟建設事業経費などを計上しています。なお、住宅の本体建設に係る事業費の総額を10億2,881万8千円とし、工事期間を令和3年度と令和4年度の2カ年とする継続費を設定しています。

次に、9款・消防費では、飯塚地区消防組合負担金や、町消防団の組織運営・装備充実に係る経費を計上しております。

また、10款・教育費では、小中学校における30人学級の継続や習熟度別授業を行うけいせん学力アップ推進事業、土曜学習教室、セカンドスクール事業等、教育環境の充実を図る取り組みや地域公民館の建設費補助金、国特別史跡・王塚古墳の保存活用計画に基づく再整備研究費、また、東京2020オリンピック聖火リレーに係る開催地負担金などを計上しています。

以上が一般会計予算の概要でございます。

今後とも限られた財源で、最大の事業効果が得られるよう努めてまいりますので、議員各位のご理解とご協力を賜われますよう、お願いいたします。

なお、本日ご提案します議案は、桂川町副町長並びに桂川町固定資産評価審査委員会委員の選任に関する同意案件が2件、人権擁護委員候補者の推薦に関する諮問が1件、令和2年度一般会計補正予算の専決処分の承認が2件、福岡県市町村退職手当組合の規約の変更に関するもの1件、桂川駅自由通路等整備工事基本協定の変更に関するもの1件、町道路線の廃止及び認定に関するもの1件、条例の制定に関するもの1件、条例の改正に関するもの5件、令和2年度補正予算が2件、令和3年度

の一般会計及び特別会計予算が6件、専決処分の報告が1件の計23件でございます。

人事案件につきましては、私から、その他の議案等につきましては、担当課長が説明いたしますので、慎重審議のうえ、議決賜りますようお願い申し上げます。行政報告、施政方針及び提案理由の説明とさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。